

広報 ふじかわ

特 集 号

富 士 川 町
財 政 白 書

昭和41年 2月10日

富士川町告示 第1号
地方自治法第243条の3第1項
の規定に基づいて昭和39年度にお
ける富士川町の財政事情を次の
ように公表します。

昭和40年 2月10日

富士川町長 中川 国兵

この財政事情の公表は地方自治法に基いて行なわれるもので、町の財政事情および、予算執行の状況を町民に公表し、町財政の状況を知っていただくと共に、批判と協力を願ひ、町政の進展に寄興するために行なわれるものです。

昭和三十九会計年度における一般会計決算は別表の通り健全財政を堅持しつつ、小学校改築をはじめ各種の事業を実施してきましたが水道会計、国民健康保険会計においては繰入金によつて収支をつぐなっている現状で、今後とも、町民各位の一層のご支援をお願いする次第です。

会 計 別 決 算 総 括 表

昭和39年度

単位円

会 計 種 別	歳 入			歳 出			差 引 残 高
	予 算 額	決 算 額	予算に対する %	予 算 額	決 算 額	予算に対する %	
一 般 会 計	187,200,000	191,841,745	102.5	187,200,000	181,013,500	96.7	10,828,245
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	19,344,000	18,952,531	98.0	19,344,000	18,845,621	97.4	106,910
奨 学 金 特 別 会 計	450,000	403,119	89.6	450,000	383,040	85.1	20,079
水 道 企 業 会 計	15,050,000	15,346,155	102.0	17,798,000	17,566,873	98.7	△ 2,220,718
総 計	222,044,000	226,543,550	102.0	224,792,000	217,809,034	96.9	8,734,516

昭和39年度一般会計決算額

款別	入				出				
	子算額	調定額	収入済額	収入未済額	款別	子算額	支出済額	子算残高	執行率
1.町税	106,908,000	113,844,650	111,710,210	1,271,361	1.議 会 費	3,551,000	3,457,642	93,358	97.9%
2.地方交付税	6,998,000	6,998,000	6,998,000	0	2.総 務 費	32,643,215	31,144,517	1,498,698	95.4
3.分担金負担金	5,000	0	0	0	3.民 生 費	22,781,103	22,361,311	419,792	98.2
4.使用料手数料	8,075,000	8,271,370	8,181,340	90,030	4.衛 生 費	18,845,000	18,694,316	150,684	99.2
5.国庫支出金	18,156,000	18,112,756	18,112,756	0	5.農 林 水 産 費	12,732,000	12,478,762	253,238	98.0
6.県支出金	7,341,000	7,662,082	7,662,082	0	6.商 工 費	1,335,000	1,260,731	74,269	94.4
7.財産収入	7,502,000	1,774,075	1,757,897	16,178	7.土 木 費	30,810,000	28,919,156	1,890,844	94.9
8.寄 附 金	5,485,000	10,642,700	10,642,700	0	8.消 防 費	6,058,800	5,694,007	364,793	94.0
9.繰 入 金	1,000	0	0	0	9.教 育 費	51,397,994	50,820,228	577,766	98.8
10.繰 越 金	7,990,000	7,990,545	7,990,545	0	10.災 害 復 旧 費	1,115,000	1,052,831	62,169	94.4
11.諸 収 入	667,000	786,215	786,215	0	11.公 債 費	2,809,391	2,809,391	0	100.0
12.町 債	18,000,000	18,000,000	18,000,000	0	12.諸 支 出 金	2,400,000	2,320,608	79,392	96.7
歳入合計	187,200,000	194,122,393	191,841,745	1,377,569	13.予 備 費	721,497	0	721,497	0
					歳出合計	187,200,000	181,013,500	6,186,500	96.7%

歳入歳出差引残高 10,828,245円 昭和40年度へ繰越

昭和39年度国民健康保険特別会計決算額

歳入					歳出				
款別	予算額	調定額	収入済額	収 未 済 入 額	款別	予算額	支出済額	予算残高	執行率
1. 保険税	5,890,000	6,760,108	6,150,516	471,894	1. 総務費	1,555,936	1,526,930	29,006	98.1
2. 使用料及 手数料	1,000	2,140	2,140	0	2. 保険給付費	17,506,000	17,209,567	296,433	98.3
3. 国庫支出金	10,386,000	9,666,180	9,666,180	0	3. 保険施設費	240,000	73,143	166,857	30.5
4. 県支出金	1,000	14,100	14,100	0	4. 公債費	1,000	0	1,000	0
5. 財産収入	206,000	101,775	101,775	0	5. 諸支出金	40,000	35,981	4,019	90.0
6. 繰入金	2,300,000	2,444,862	2,444,862	0	6. 予備費	1,064	0	1,064	0
7. 繰越金	554,000	554,524	554,524	0					
8. 諸収入	6,000	18,434	18,434	0					
歳入合計	19,344,000	19,562,123	18,952,531	471,894	歳出合計	19,344,000	18,845,621	489,379	97.4

歳入歳出差引残高 106,910円 昭和40年度へ繰越

昭和39年度奨学金特別会計決算額

歳入					歳出				
款別	予算額	調定額	収入済額	収 未 済 入 額	款別	予算額	支出済額	予算残高	執行率
1. 繰入金	50,000	50,000	50,000	0	1. 貸付金	420,000	372,000	48,000	88.6
2. 繰越金	99,000	27,446	27,446	0	2. 事務費	20,000	11,040	8,960	55.2
3. 返済金	300,000	331,000	324,500	6,500	3. 予備費	10,000	0	10,000	0
4. 雑収入	1,000	1,173	1,173	0					
歳入合計	450,000	409,616	403,119	6,500	歳出合計	450,000	383,040	66,960	85.1

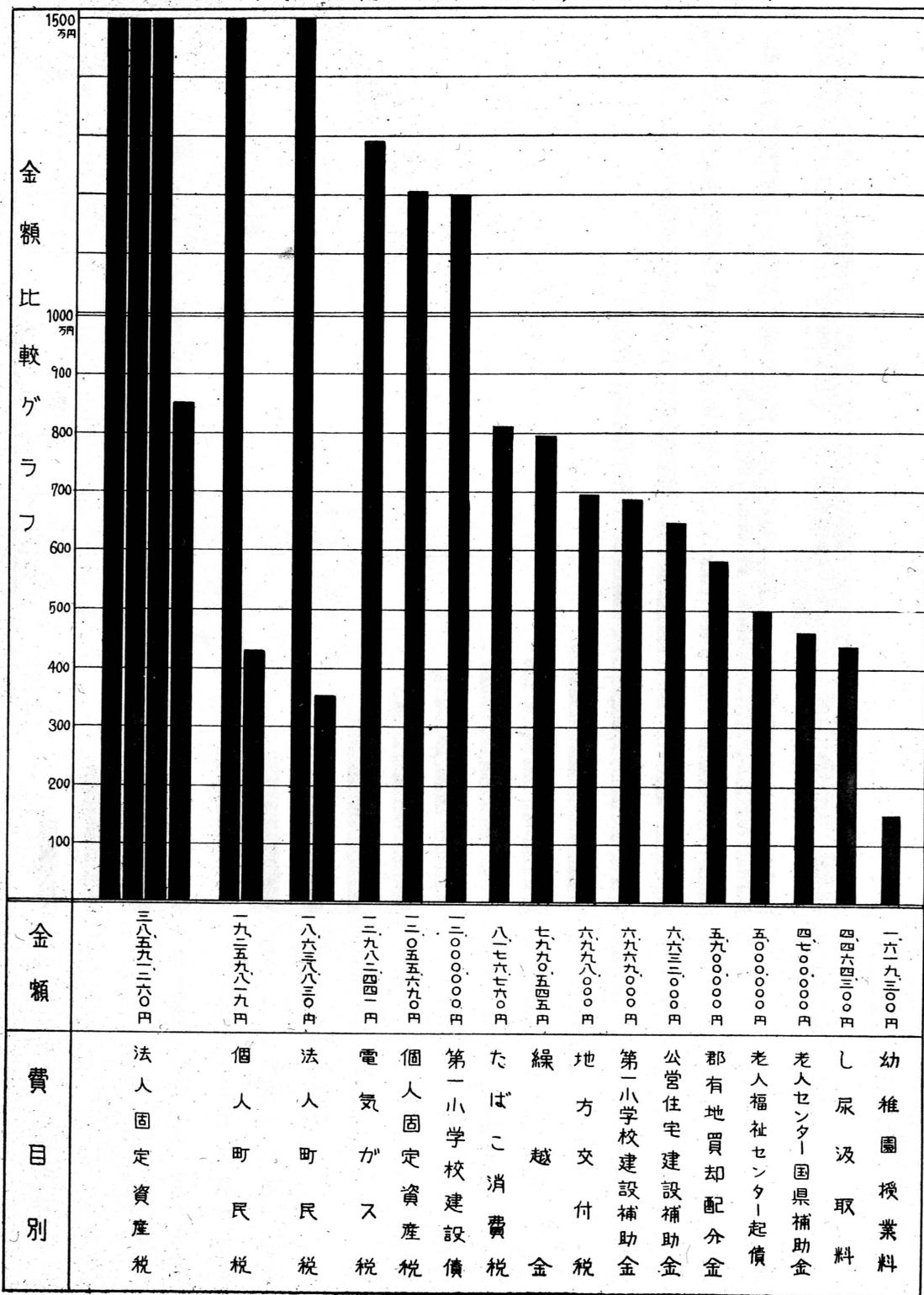
歳入歳出差引残高 20,079円 昭和40年度へ繰越

昭和39年度水道事業特別会計決算額

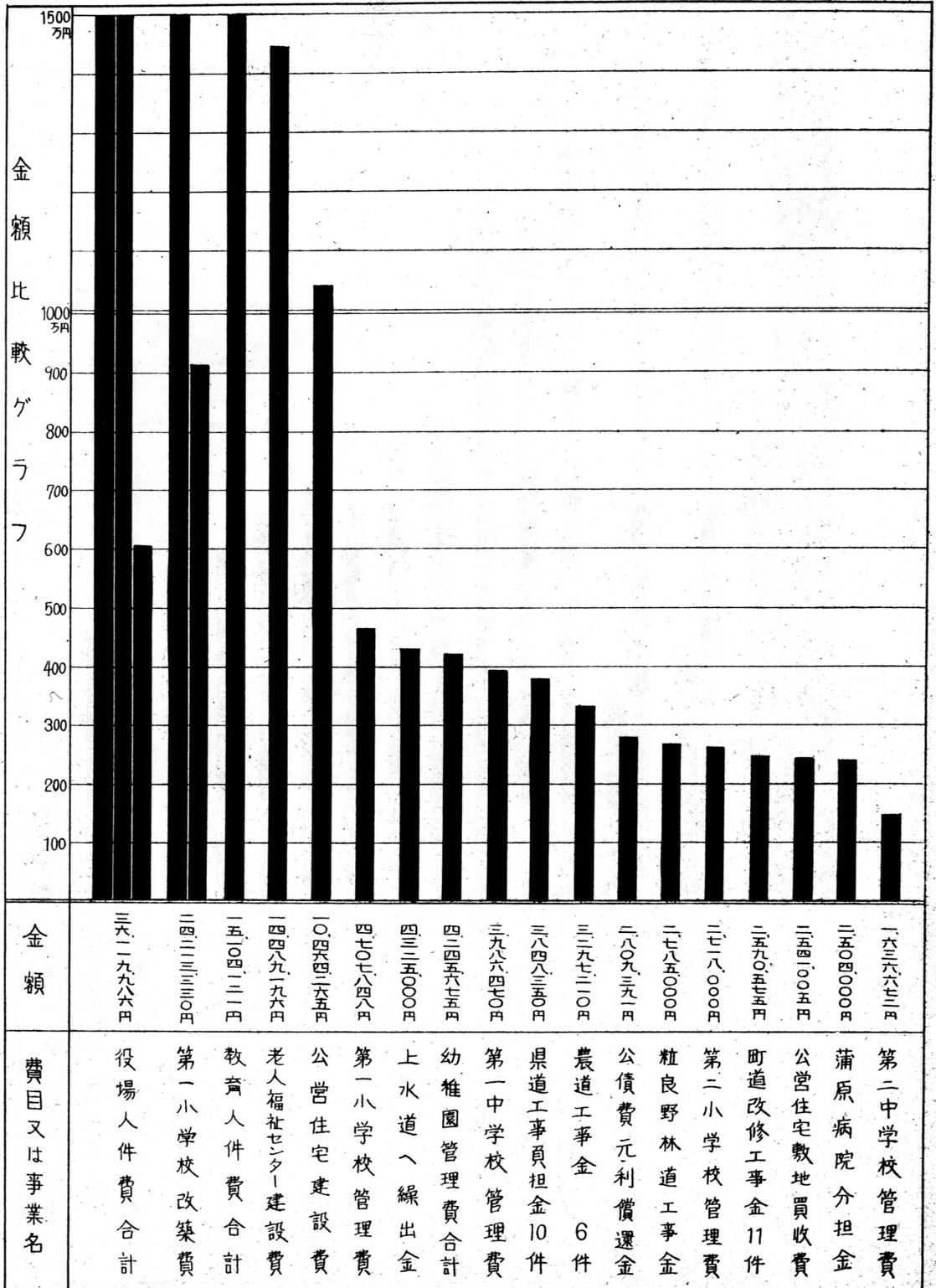
歳入				歳出					
款	目	予算額	収入済額	収入多	款	目	予算額	支出済額	支出%
事業収益	1.給水収益	6,467,000	6,645,260	102.8	事業費用	1.原配水給水費	3,626,000	3,629,386	100.1
	2.受託工事収益	1,200,000	1,314,139	109.5		2.受託給水工事費	1,288,000	1,250,856	97.1
	3.その他営業収益	78,000	78,030	100.0		3.総保費	1,732,000	1,715,675	99.1
	4.利子配当金	40,000	43,726	109.3		4.減価償却費	2,767,000	2,650,084	95.8
	5.他会計補助金	2,145,000	2,156,372	100.5		5.資産減耗費	15,000	2,500	16.7
	6.雑収益	0	0	0		6.その他費用	31,000	19,088	61.6
小計		9,930,000	10,237,527	103.1	7.利息	3,119,000	3,118,731	100.0	
資本的収入	1.企業売却代金	1,500,000	1,500,000	100.0	8.雑支出	0	0	0	
	2.資産売却代金	100,000	100,000	100.0	9.子小計	100,000	71,925	71.9	
	3.国庫補助金	700,000	700,000	100.0		12,678,000	12,458,245	98.3	
	4.具費補助金	510,000	510,000	100.0		3,657,000	3,645,441	99.7	
	5.一般会計繰入金	2,180,000	2,168,628	99.5		1,463,000	1,463,187	100.0	
	6.工事寄附金	130,000	130,000	100.0		5,120,000	5,108,628	99.8	
小計		5,120,000	5,108,628	99.8					
歳入合計		15,050,000	15,346,155	102.0	歳出合計	17,798,000	17,566,873	98.7	

歳入歳出差引 赤字 2,220,718円

昭和39年度一般会計 歳入の内主なる収入費目とその金額



昭和39年度一般会計 歳出の内主なる費目事業の支出決算額



町税々目別収入状況および税負担額表

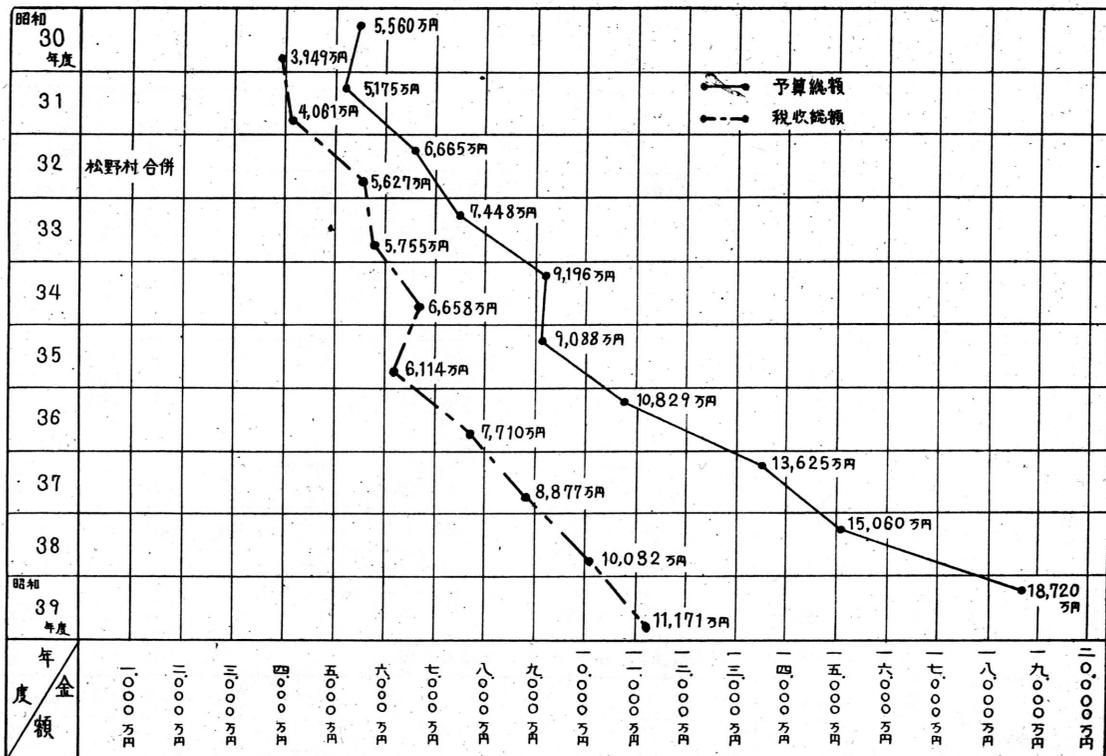
(単位 円)

税 目	調定区分		調定額	収入済額	不納 欠損額	収 入 未 済 額	調定対 収入%	調定額対税負担額		町税総 額対収 入 %	税目別 個人法 人 %	前年対 収入伸 長率%
								一法人 一世帯 あたり	一人当り			
1. 町 民 税	現年分	個人	19,266,950	19,229,686	-	37,264	99.8	6,455	1,344	17.2	51.3	123.1
		法人	18,275,070	18,274,370	-	700	99.9	351,444	-	16.4	48.7	103.3
	滞納繰越分		803,381	394,593	233,831	174,957	49.1	-	-	0.3	-	190.2
	小 計		38,345,401	37,898,649	233,831	212,921	98.8	-	-	33.9	-	113.6
2. 固定資産税	現年分	個人	12,150,350	12,055,690	-	94,660	99.2	4,070	848	10.8	23.8	106.3
		法人	38,853,310	38,591,260	-	262,050	99.3	747,179	-	34.5	76.2	111.2
	滞納繰越分		1,436,108	164,430	665,248	606,430	11.4	-	-	0.2	-	103.2
	小 計		52,439,768	50,811,380	665,248	963,140	96.9	-	-	45.5	-	109.8
3. 軽自動車税	現年分	個人	1,711,550	1,663,420	-	48,130	97.2	573	119	1.6	96.8	115.8
		法人	55,000	55,000	-	-	100	1,058	-	-	3.2	108.9
	滞納繰越分		89,330	38,160	4,000	47,170	47.2	-	-	-	-	115.9
	小 計		1,855,880	1,756,580	4,000	95,300	94.6	-	-	1.6	-	115.6
4. 煙草消費税	現年分	個人	8,176,760	8,176,760	-	-	100	2,739	571	7.3	100	129.2
		法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計		8,176,760	8,176,760	-	-	100	-	-	-	-	129.2
5. 電気ガス税	現年分	個人	3,378,700	3,378,700	-	-	100	1,132	236	3.0	26.0	87.3
		法人	9,603,741	9,603,741	-	-	100	184,687	-	8.0	74.0	96.5
	小 計		12,982,441	12,982,441	-	-	100	-	-	11.6	-	93.9
6. 木材引取税	現年分	個人	84,400	84,400	-	-	100	28	6	0.1	100	199.7
		法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計		84,400	84,400	-	-	100	-	-	-	-	199.7
7. 旧法に よる税	現年分	個人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	現年分	個人	44,768,710	44,588,656	-	180,054	99.6	14,998	3,124	40.0	40.1	115.4
		法人	66,787,121	66,524,371	-	262,750	99.6	1,284,368	-	59.5	59.9	106.6
	(計)		111,555,831	111,113,027	-	442,804	99.6	-	-	99.5	100	110.0
	滞納繰越分		2,328,819	597,183	903,079	828,557	25.6	-	-	0.5	-	123.2
	合 計		113,884,650	111,710,210	903,079	1,271,361	98.1	-	-	100	-	110.2

備 考 昭和40年3月30日現在

住民登録人口	14,331人
世帯数	2,985戸
法人数	52社

10ヶ年間の富士川町一般会計予算額及税収入額の推移



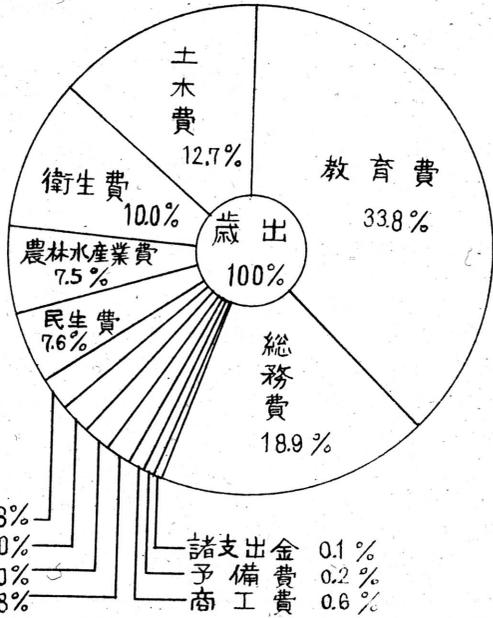
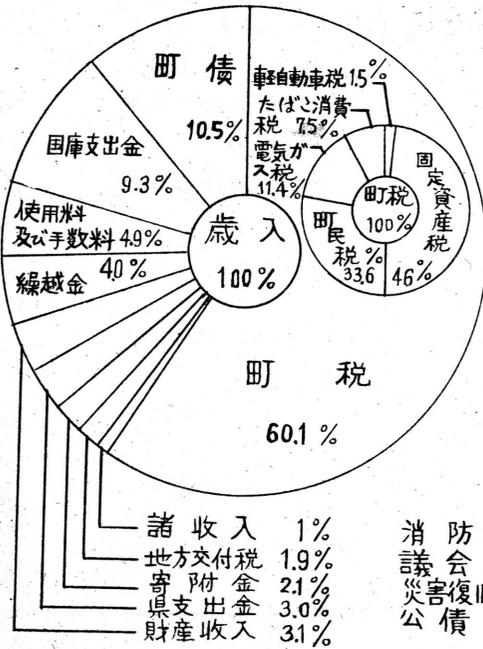
昭和40年3月末現在 町有財産調書				地方債(町債)現在高		
(1) 土地建物	土地々積	建物坪数	(2) 地上権 159坪	対象事業名	当初借入高	町債現在高
役場及支所	783坪	280坪		富士見橋線道路	1,000,000円	1,000,000円
消防施設	141	111	(3) 有価証券 株券 4,500円	一中建設費	500,000	97,656
巡査駐在所	59	24	電話債券 10,000円	一中建設費	400,000	94,473
学校	13,951	4,436	(4) 出資金	二中建設費	3,000,000	2,887,587
公営住宅	3,276	664	農業信用基金協会出資 100,000円	一小建築費	12,000,000	12,000,000
公民館	927	395	県農協連合会出資金 10,000円	日の出町公営住宅	900,000	245,453
図書館	214	84	県保証協会出捐金 300,000円	吉添公営住宅	1,500,000	1,500,000
福祉センター	281	150	全国治水砂防協会金 40,000円	同上	1,000,000	1,000,000
火葬場	370	42	(5) 物件 乗用車 1台	ごみ焼却場建設	2,000,000	1,830,270
忠霊塔	437	0	消防車 5台	福祉センター建設	5,000,000	5,000,000
町営住宅	418	180	自動三輪車 3台	有線放送事業	1,000,000	433,219
ごみ焼却場	100	37	バギューム車 3台	災害復旧事業	2,500,000	1,518,000
宅地	1,735	0	掛軸 1幅	同上	4,000,000	220,536
山林	723,068	0	(6) 基金 545,000円	同上	900,000	330,625
その他	7,064	0		合計	35,700,000	28,157,819
合計	753,364	6,403				

昭和40年度一般会計予算図表

(各款別比較表)

歳入予算額 175,600千円

歳出予算額 175,600千円



単位 千円 昭和40年度富士川町一般会計現計予算額 昭和40.12.23.現在

歳入				歳出			
款別	当初予算額	追加補正額	現計予算額	款別	当初予算額	追加補正額	現計予算額
1.町税	105.530	6.361	111.891	1.議会費	3.465	121	3.586
2.地方交付税	3.400	0	3.400	2.総務費	33.254	1.761	35.015
3.分担金負担金	5	0	5	3.民生費	13.259	1.847	15.106
4.使用料手数料	8.666	696	9.362	4.衛生費	17.619	1.978	19.597
5.国庫支出金	16.307	561	16.868	5.農林水産費	13.165	851	14.016
6.県支出金	5.224	312	5.536	6.商工費	1.019	247	1.266
7.財産収入	5.516	5.404	10.920	7.土木費	22.379	7.538	29.917
8.寄附金	3.597	1.903	5.500	8.消防費	4.918	64	4.982
9.繰入金	1	0	1	9.教育費	52.299	1.681	60.980
10.繰越金	7.000	3.828	10.828	10.災害復旧費	3.540	900	4.440
11.諸収入	1.854	35	1.889	11.公債費	3.135	600	3.735
12.町債	18.500	14.000	32.500	12.諸支出金	100	15.400	15.500
				13.予備費	448	112	560
歳入合計	175.600	33.100	208.700	歳出合計	175.600	33.100	208.700

昭和40年度予算に計上された主な事業

単位千円

主なる事業名	予算額	事業名	予算額	事業名	予算額
国民健康保険線出金	2.250	旭町跨道橋工事金	2.500	富士川由比線舗装工事金	350
保育所建設費	6.750	桑木穴林道工事金	2.400	県道工事分担金	2.345
蒲原病院建設分担金	2.179	吉津金丸線橋工事金	900	東町稲荷線工事金	500
し尿処理場建設分担金	810	足ヶ久保線橋工事金	350	原地線開設工事金	360
町営水道へ線出金	2.500	小池停車場線側溝工事金	250	南馬坂線工事金	1.495
馬坂農道建設工事金	1.000	公営住宅建設工事金	950	富士見橋線舗装工事金	1.000
北松野水路工事金	1.260	原方中野線舗装工事金	500	富士川由比線拡幅	120
防火水槽工事金3ヶ所	1.450	上町線側溝工事金	200	小池川改修負担金	370
一小改築工事金	29.390	新町停車場舗装工事金	200	坂下堤防線工事金	1.406

財政事情の公表にそえて

監査委員 太田 義雄

ここに公表された資料は昭和三十九年度一般会計なら
 びに水道事業・国民健康保険・奨学資金等の特別会計の
 決算状況を示すものです。その他町有財産の保有状況の
 地方債、企業債（国その他）の長期借入金）の現債額
 等の財政事情を明らかにした資料が公表されておしま
 す。いづゆる一町の財政白書であり、町民各位が町政
 の動きをしるうえにもたいへん参考になるものと思いま
 す。つきましては、右各会計の決算審査を実施した結果の感
 想につきまして、公表にそえて一言述べさせていただきます。

昭和三十九年度各会計の決算に対する監査委員の意見
 は総括的に見て水道事業特別会計を除いて各会計共に健
 全に経過しており、とくに一般会計では第一小学校々舎
 改築、福祉センター建設等大事業を実施したが、約一・
 〇〇〇万円を次年度へ繰越しておられます。つきに水道事
 業特別会計については、今年も赤字決算でこの点、議会
 において長時間論議された事項です。三十九年度は一
 般会計より四三二万五千円繰入れ収支をたもつていま
 独立採算制をとる企業会計上からみて、損益勘定におい
 てはなお二百二十万円の欠損になつております。では
 この赤字を解消するにはどうしたらよいか、現在の
 三つの方法が考へられますが、

(一) 国や県が補助金を与へること。
 (二) 一般会計の繰入金を増額すること。
 (三) 水道料金の大巾な値上げをする。

であるが、以上の方法も困難な問題でゆきづまりにきて
 おり、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 考へるが、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 する。町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 ついよに、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 今ねに、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 とに、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 町におき、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 により、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない
 とに、町長が、私たちが簡便な説明で意をつくらざるを得ない